

Benesse Family

ベネッセファミリー Vol.54

第67期 株主通信

2020年4月1日－2020年9月30日

【証券コード：9783】



株式会社 ベネッセホールディングス

<https://www.benesse-hd.co.jp/ja/>

株主の皆様へ



新型コロナウイルス感染症の影響を受けた業績を速やかに回復させ、コア事業の進化と新たな成長に向けた新領域への挑戦により、持続的な成長を目指してまいります。

代表取締役社長 CEO 安達 保

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症の影響を受けられた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

当上半期の業績は、「進研ゼミ」や国内の「こどもちゃれんじ」が延べ在籍数を順調に伸ばしたものの、ベルリッツ事業や、国内教育事業における学校向け教育事業、学習塾・英語教室事業を中心に新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたことにより、売上高2,089億円（前年同期比7.0%減）、営業利益82億円（前年同期比44.0%減）と前年同期比減収減益となりました。

中間配当金については、業績の早期回復を見据え、前年同期と同じ25円に据え置くことといたしました。

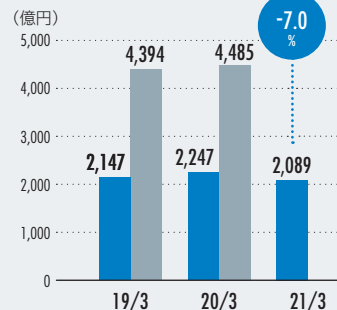
また、当社は2022年度に向けて中期経営計画「変革と成長 Benesse2022」の達成に取り組んでまいりましたが、新型コロナウイルス感染症により加速した経営環境の大きな変化を受け、新たに2021年度から5か年の「新中期経営計画 FY2021-2025」を策定いたしました。新中期経営計画では、2022年度までに新型コロナウイルス感染症の影響を受けた業績の速やかな回復を目指します。そして、2025年度までにコア事業の進化と新たな成長に向けた新領域への挑戦による企業価値の増大を目指します。当社は、教育・介護のリーディングカンパニーとして、社会が直面する教育と介護の課題解決に取り組むことで、社会貢献と持続的成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、新中期経営計画へのご理解とより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

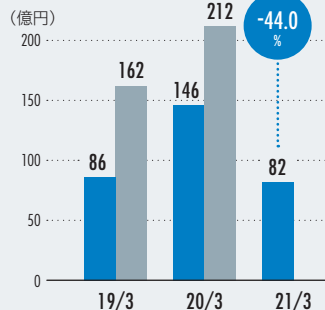
連結業績ハイライト

■ 上半期 ■ 通期

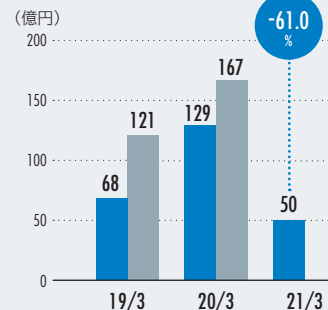
売上高



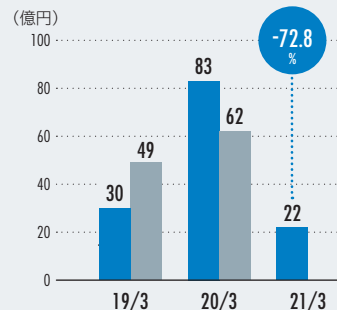
営業利益



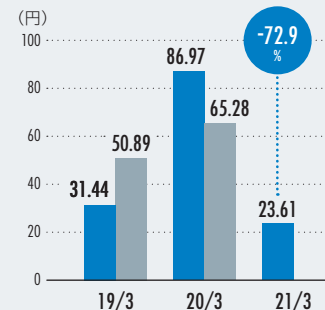
経常利益



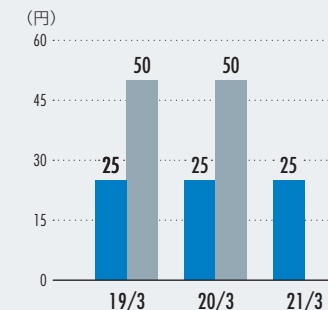
親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益



1株当たり配当金



2021年3月期の連結業績予想

当社は、新型コロナウイルス感染症拡大により、合理的な算定が困難であったことから、通期連結業績予想を未定としておりましたが、2020年11月6日時点で入手可能な情報をもとに、右記のとおり算定しました。ただし、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

連結業績予想

(億円)

	20/3	21/3 (予)	前期比増減率
売上高	4,485	4,260	-5.0%
営業利益	212	93	-56.3%
経常利益	167	45	-73.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	62	0	—
1株当たり当期純利益(円)	65.28	0.00	—

事業領域別の概況

(注) 各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高が含まれています。

2021年3月期 第2四半期決算



決算(新中期経営計画)資料・決算説明会の様子をご覧ください。

🔍 [パネッセ 決算資料](#) [検索](#)

国内教育



(株)パネッセコーポレーション

- 通信教育事業「進研ゼミ」
- 「進研模試」を中心とした学校向け教育事業

Classi(株)

- 教育プラットフォームの開発・運営事業

(株)東京個別指導学院

(株)東京教育研 等

- 学習塾事業

(株)パネッセベーススタジオ

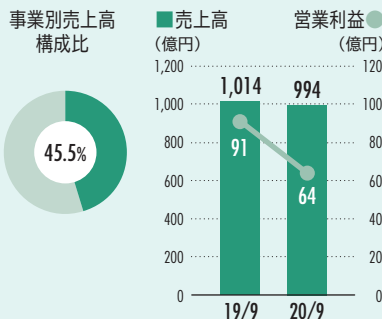
- 子ども向け英語教室事業

売上高 減収 (-2.0%)

- コロナ影響による学校休校や学習塾・英語教室の営業自粛に伴う減収
- 通信教育講座の延べ在籍数増加等による増収

営業利益 減益 (-29.4%)

- 減収による減益
- 通信教育講座の教科書改訂対応等の費用増



グローバル こどもちゃれんじ



(株)パネッセコーポレーション

倍楽生商貿(中国)有限公司

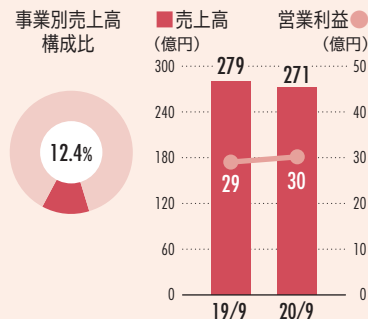
- 国内・中国・台湾等での通信教育事業「こどもちゃれんじ」等

売上高 減収 (-2.8%)

- コロナ影響による中国と国内でのコンサート等の中止による減収
- 国内の通信教育講座の延べ在籍数増加等による増収

営業利益 増益 (+3.7%)

- 中国での販売費の減少等
- 減収による減益



介護・保育



(株) ベネッセスタイルケア

- 入居介護サービス事業
(高齢者向けホーム及び住宅運営)
- 在宅介護サービス事業
- 保育園・学童運営事業

(株) ベネッセパレット

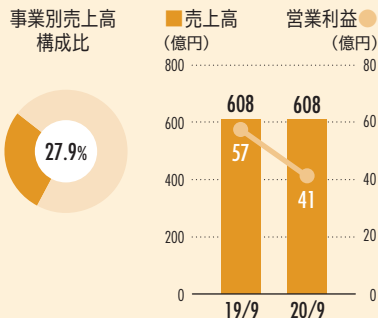
- 配食サービス・介護食サービス

売上高 増収 (+0.1%)

- 保育事業での増収
- 入居型ホームの新規入居者数減少による減収

営業利益 減益 (-27.4%)

- 処遇改善や要員増による労務費の増加等
- 増収による増益



ベルリッツ



Berlitz Corporation

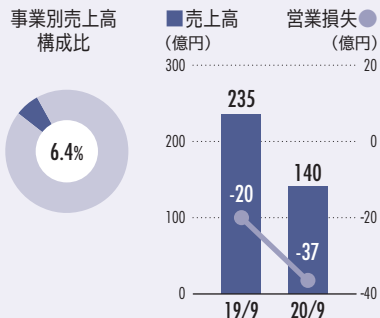
- 語学教育事業
- 留学支援事業
- グローバル人材育成事業

売上高 減収 (-40.4%)

- 為替換算時のマイナス影響
- コロナ影響によるランゲージセンターの一時閉鎖、留学事業の営業活動縮小による減収
- 事業のフランチャイズ化、事業整理による減収

営業利益 赤字拡大

- 減収による減益
- コスト削減



その他



(株) ベネッセコーポレーション

- 雑誌事業
- 通信販売事業等

(株) ベネッセインフォシエル

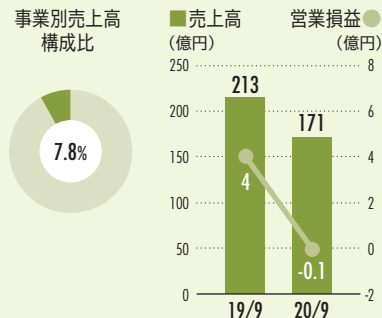
- 情報システムの保守・運用事業
- 情報処理サービス事業

売上高 減収 (-19.7%)

- (株) サイマル・インターナショナルの全株式譲渡による減収
- コロナ影響による直島事業のホテル休業等による減収

営業利益 赤字転落

- 減収による減益



新中期経営計画 FY2021-2025

～コア事業の進化と新領域への挑戦～

新中期経営計画の策定にあたり、5年～10年後の社会構造の変化を見据え、当社グループがどのような社会課題の解決に貢献していこうとしているのかを<2030年に向けて目指す姿>として明確にしました。

「新中期経営計画 FY2021-2025」では、2022年度ま

での最初の2年間で、新型コロナウイルス感染症で影響を受けた業績を速やかに回復させることを目指します。そして、2025年度に向けては、社会構造の変化に応じて、大きく変わる事業環境の中で、コア事業を進化させながら、新たな成長に向けた新領域への挑戦に取り組んでまいります。

2030年に向けて目指す姿

日本・世界が直面する教育と介護の課題に対し、
その解決にどこよりも真摯に取り組み、
すべての人が向上意欲を持ち、自分らしく挑戦し続けられる人生を支援します

ベネッセグループの社会貢献

日本における教育・介護のリーディングカンパニーとして

一人ひとりが成長し、
人生を豊かにする学びを提供する

高齢者の「自分らしく生きる」を
支える

グローバル課題への新たな挑戦

日本で培った教育・介護のアセットを活かし
世界の教育課題や介護課題に取り組む

新中期経営計画の財務目標

フェーズ1でV字回復、フェーズ2では新たな挑戦による成長を目指す

フェーズ
1

2021年度-2022年度

2019年度を超える売上高・
営業利益まで回復

フェーズ
2

2023年度-2025年度

既存事業の売上高
年平均成長率3%以上

2025年度

営業利益率8%以上
ROE10%以上

新中期経営計画の基本的な枠組みと事業戦略

01 >

事業戦略

コア事業の進化

国内教育

進研ゼミ

- デジタルによる個人別学習の実現と映像・オンライン・教室での人による指導の最適化
- 多様な学びニーズへの対応（タブレットを活用した習い事等）

学習塾

- オンラインを利用した学習塾の全国展開

学校向け教育

- 模擬試験事業の再強化
- GIGAスクール構想による学校支援事業の次世代化

グローバルこどもちゃれんじ

- 家庭・親子を支援する「しまじろうワールド」の拡大
- デジタルによる接点拡大と商品・サービスの強化

介護・保育

- 新エリアへの進出による新規ホーム開設数の増加
- 人材紹介事業等の周辺事業での非連続な成長

ベルリッツ

- ベルリッツ2.0とデジタルマーケティングの強化
- さらなる構造の転換

新領域への挑戦

- 国内で培った自社の強みを活かした海外展開（中国での介護事業・海外での教育事業）
- 大学・社会人領域での、一生涯の学びと多様な働き方支援

02 >

経営基盤の強化

- DX（デジタルトランスフォーメーション）の強力推進
- 働き方改革・生産性向上の取り組み
- 人財成長機会の創出と成長支援

03 >

資本政策

- 配当性向35%以上を目標とした、利益成長と連動した安定的な株主還元
- コア事業の次世代化や、M&Aを含む新領域への投資等、積極的な成長投資

ウィズコロナ時代の 「よく生きる」を支援する

新型コロナウイルス感染症の影響により、3月以降、学校の一斉休校、外出自粛要請、緊急事態宣言の発出など、社会環境が大きく変化しました。5月以降は、緊急事態宣言の解除を受け、徐々に学校等が再開されるとともに、社会全体がウィズコロナ時代の新しい生活様式に挑戦しています。ベネッセグループでは、環境変化に伴うお客様の不安や困りごとに真摯に向き合い、一人ひとりの「よく生きる」のために、全力で支援しています。

教育事業では、「こどもちゃれんじ」「進研ゼミ」などの通信教育事業や「クラスベネッセ」をはじめとした塾事業でオンラインによる授業などのサービスを提供しました。また、一斉休校（休園）、休校延長、学校再開などの段階に応じて、どなたでも無償でご利用いただけるサービスとして、学習教材の提供、オンライン教室の配信、実力診断テストの実施など、さまざまな「学び支援」を行いました。

介護・保育事業では、感染症予防対策に最優先で取り組むとともに、「ベネッセの学童クラブ」では、学校の休校中は開所時間を前倒しして、朝から子どもたちを受け入れました。また、在宅勤務をする保護者が増えたことにより、学童保育のニーズが変化する中、家にいる子どもたちにも継続して多様な体験をさせたいという保護者の要望に応え、オンライン配信での「学び・体験イベント」や「社会科見学」を開始しました。9月には、これまで介護付き高齢者ホームやその周辺地域で実施していた介護セミナーを「認知症オンラインセミナー」として初めてオンラインで開催し、全国から約100名が自宅等から参加されました。

生活事業では、妊娠・育児中の方向けに実施した新型コロナウイルスに関するアンケート結果を踏まえ、ウェブサイト「たまひよ コロナ禍をのりきるために」を開設しました。

当社グループは、引き続きウィズコロナ時代のお客様の支援に全力で取り組むとともに、新たな「よく生きる」社会と「よく生きる」未来の実現に向けて、お客様に寄り添い、持続可能な社会に貢献すべく、挑戦を続けます。

ベネッセの
学びの支援



「こどもちゃれんじ」
生活・まなびの支援



「進研ゼミ」
学びの支援

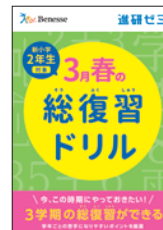
学びの支援例

01 | 全国小・中・高校 一斉休校

★「こどもちゃれんじ」 ＜オンライン幼稚園＞配信



★「進研ゼミ」小・中・高校生向け ＜春の総復習ドリル＞無償提供



冊子+データ（PDF）計100万部を提供

「クラスベネッセ」中学生向け ＜オンラインサービス＞提供



学習コーチが自宅学習をサポート

★印をつけたサービスはどなたでもご利用いただけるサービスとして提供しました。
また、2次元コードを記載しているものは現在でもご利用いただけますのでぜひご活用ください。

02 休校延長・緊急事態宣言

★「たまひよ」<コロナ禍をのりきるために> ウェブサイト開設



新型コロナウイルス感染症予防に関する情報や妊娠・育児期の課題解決に役立つ情報などを掲載



★「こどもちゃれんじ」<みんなといっしょたいそう>配信



「しまじろう」（こどもちゃれんじ）と「ハローキティ」（サンリオ）が共同して、人気キャラクターたちと体を動かせる「みんなといっしょたいそう」の動画（日本語・英語・中国語）を提供

★「進研ゼミ」 小・中学生向けオンライン教室 <きょうの時間割>配信

休校中の小・中学生の規則的な生活リズムと学びに向かうきっかけ作りを応援するため、オンライン教室を提供



★「進研ゼミ」高校生向け<学習法アドバイス>配信

「クラスベネッセ」<オンラインクラスベネッセ>開始

「ベネッセビースタジオ」 <オンラインレッスン+映像レッスン>開始

★「ベネッセi-キャリア」大学生向けオンラインキャリア講座 <doda キャンパスゼミ>配信

03 全国小・中・高校再開

★「こどもちゃれんじ」<オンラインサマースクール>配信

★「こどもちゃれんじ」 <音楽ストーリーミング>配信（有料）

「こどもちゃれんじ」「こどもちゃれんじEnglish」で人気の音楽のストーリーミング配信を大手音楽配信サービス（Amazon Music, Apple Music, Spotifyなど）にて提供



★「進研ゼミ」小・中学生向け <全国実力診断テスト> <個別復習ドリル>無償提供



小1～中3の15万人以上が活用

★「ルートH」「鉄緑会」中・高校生向け <日米トップ大 オンラインサマースクール>開催

★<ベネッセ 教育情報フォーラム>開始

コロナ禍で受験と向き合う生徒を支援



最新入試情報・
受験セミナーの提供（アプリ）



受験対策教材の提供

TOPICS

～学びを通して人生をより豊かに～

オンライン学習プラットフォームUdemyと実現する 人生100年時代の「大人の学び」



CHECK!



Udemyの
詳細は
こちらから
ご覧ください。

(株)ベネッセコーポレーションは、人生100年時代の「大人の学び」を見据え、2015年に米国Udemy（ユーデミー）社と提携し、「Udemy」の日本国内での展開を開始しました。Udemyは教えたい人（講師）と学びたい人（学習者）をオンラインでつなぐ世界最大規模のCtoC（Consumer to Consumer）型オンライン学習プラットフォームです。5.7万人以上の講師が在籍し、世界180か国、3,500万人以上の学習者が日々Udemyで学んでいます。AI開発に使用されるPython（パイソン）などのプログラミング言語をはじめ、表計算ソフトExcel（エクセル）やプレゼンテーション等のビジネススキルなど、近年多様化した受講ニーズを満たす実践的な講座が特徴で、13万以上の動画講座が公開されています。

Udemyは、最新のトレンドをいち早くビジネスに活かそうとするIT技術者やビジネスパーソンを中心に国内の利用者を拡大してきました。2019年6月には、国内の法人向け研修サービスとして、オンライン動画学習サービス「Udemy for

Business」の提供を開始しました。このサービスは、Udemyで公開されている講座の中から、国内の利用者向けに厳選した日本語及び英語、約5,000講座を定額制で提供するものです。IT・DX人材の不足、働き方改革による生産性向上などを背景に企業からの需要が高まり、提供開始から約1年半で大手企業を含む200社以上に導入されています。同年11月、企業・学校・自治体などにおける、eラーニングを活用したコンテンツ・サービス・ソリューションの中から特に優れたものを選出するアワードである、第16回日本e-Learning大賞「経済産業大臣賞」及び「日本電子出版協会会長賞」をダブル受賞しました。

当社グループは、子ども向け教育領域において、家庭学習事業、塾・教室事業、学校教育支援事業を展開していますが、これに加えて、社会人向けのリカレント教育も中長期的な注力領域として捉えています。2020年には、当社がUdemy社と資本提携を行い、リカレント教育のさらなる成長に向けた連携強化を図っています。

会社概要

(2020年9月30日現在)

商号	株式会社ベネッセホールディングス (英文表記) Benesse Holdings, Inc.
本社所在地	〒700-0807 岡山県岡山市北区南方三丁目7番17号
創業	1955年1月28日
資本金	13,739百万円
従業員の状況	連結従業員数 19,839名 (注)このほか臨時従業員として1,053名(期中平均)がいます。
取締役・監査役	代表取締役社長 CEO 安達 保
	代表取締役副社長 COO 小林 仁
	取締役 滝山 真也
	取締役 山崎 昌樹
	取締役 岡田 晴奈
	取締役*1*3 井原 勝美
	取締役*1 福武 英明
	取締役*1*3 安田 隆二
	取締役*1*3 岩井 睦雄
	取締役*1*3 岩瀬 大輔
	常勤監査役 松本 芳範
	常勤監査役 齋藤 直人
	監査役*2*3 出雲 栄一
監査役*2 石黒 美幸	

*1 社外取締役 *2 社外監査役 *3 独立役員

株式の状況

(2020年9月30日現在)

発行済株式の総数	102,541,528株	
株主数	49,736名	
大株主 (上位10名)		
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)	12,036	12.48
(株)日本カストディ銀行	9,266	9.61
efu Investment Limited	7,858	8.15
(公財)福武財団	7,758	8.04
(株)中国銀行	2,787	2.89
(公財)福武教育文化振興財団	1,919	1.99
(株)南方ホールディングス	1,836	1.90
JP MORGAN CHASE BANK 385632	1,702	1.76
みずほ信託銀行(株)	1,600	1.66
退職給付信託 中国銀行口		
松浦俊明	1,396	1.44

(注1) 日本マスタートラスト信託銀行(株)の持株数には、福武英明氏が代表を務める資産管理及び投資活動目的の法人であるefu Investment Limitedが信託財産として拠出している当社株式6,809千株(持株比率7.06%)を含み、委託された信託財産の議決権行使に関する指図者は、efu Investment Limitedです。

(注2) 当社は自己株式6,157千株を保有しています。当該株式には議決権がないため上記大株主からは除外するとともに、持株比率の算出についても、当該株式数を控除しています。

(注3) 持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて記載しています。

所有者別株式分布状況



(注) 構成比率は小数点第3位以下を切り捨てて記載しています。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行(株)
特別口座口座管理機関	三菱UFJ信託銀行(株)
同連絡先	三菱UFJ信託銀行(株) 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL:0120-094-777(通話料無料) 土日祝日を除く平日9:00～17:00
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.benesse-hd.co.jp/ja/ 事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

株式事務のお取り扱い

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ります。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取り扱い致します。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いします。

将来見通しに関する注意事項

本株主通信に記載されている当社の業績見通し、計画、戦略等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しです。これらは現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみには依拠して投資判断をされることはお控えいただけますようお願いいたします。

本誌・株主・配当に関するお問い合わせ先/IR部(岡山本社)

〒700-0807 岡山県岡山市北区南方三丁目7番17号
TEL:086-225-1165(代表)



投資家向けウェブサイト



🔍 バネッセ 投資家情報 🔍 検索

表紙写真: The Naoshima Plan 「水」
撮影: 新建築社写真部



瀬戸内海の直島・豊島・犬島で展開しているアート活動「バネッセアートサイト直島」の作品の一つです。

建築家・三分一博志は、街区や建築、水路などを通して直島本来の自然と人の営みを浮き彫りにすることで、その美しさや大切さ、新たな価値を再認識するプロジェクト「The Naoshima Plan」に2011年から取り組んでいます。

2019年に完成したこの作品では、「風」や「水」という「動く素材」自体の美しさのみならず、それらを大切に隣家に受け渡していくというコミュニティの在り方に美しさを見出し、築200年の旧家の改修を通してその2つの美を浮かび上がらせました。本村地区家屋の特徴の南北続き間を顕在化させ、豊富な井戸水を湛える水盤を設置。風の吹き抜ける棧敷で水盤に足をつければ、直島の「動く素材」を目でも肌でも感じることができます。

2020年11月30日発行
発行元: 株式会社バネッセホールディングス